

## 蝉しぐれ

梅雨と低温が続きやや遅れた夏の到来だったが、まったく聞こえなかったセミの鳴き声が梅雨明け宣言とともに一斉に聞こえ始めた。「セミしぐれ」で思い出すのは松本清張の長編小説「砂の器」の初場面、ハンセン氏病の父子が村を追われて巡礼の旅で蒸し暑い日本の夏を感じさせるシーン、これから始まる物語の錯綜と喧騒そして悲壮なまでの不安が予想出来たことを思い出す。自然の営みは植物だけでは無く小さな生き物までも正直に伝わるもの、酷暑も受入れ乗り切ろう。

## 世界の核

地球上の唯一の核被爆国である日本の 8 月 悔やんだが、後に米国原子力委員会からも除名、6日、8月9日という日付、そして広島、長崎 米国からも見捨てられ 62 歳の生涯を閉じた。

を忘れることは出来ない。終戦時の私も満 3 日本は被爆後 1957 年に 10 カ国、22 人の科学者による「パグウオッシュ会議」が設立されその後、日本からも湯川秀樹、朝永振一郎、小川岩雄なども参加して 1975 年には京都でも開催、核廃絶、平和提言などが採択されつつも未だに世界の核保有数は 15,000 発以上と言われている。

歳、戦争の悲惨さを知らない世代が大半を占める今、戦争禍を伝え続けることにやや遠慮がちになってしまうことも事実だろう。第 2 次世界大戦時にナチスドイツ (1933~45) に抗戦する連合軍はナチスドイツの細菌兵器や無人爆撃機、核兵器戦に脅威を抱いていた。とりわけ米国は著名な科学者を集めて火急の研究開発 (マンハッタン計画) を始めたが 1945 年 5 月ナチスドイツは連合軍により敗北壊滅した。一方、米国は第 2 次世界大戦の枢軸国であった日本との戦いに「原爆」を投下して戦争終結を考えた。「原爆の父」とまで讃えられたオッペン・ハイマー (物理学者) は広島で使われた原子爆弾 (リトル・ボーイ) の最高責任者だったが「社会的、軍事的責任までは負えない」そして自ら「科学者は罪を作った」と核廃絶のために長崎の 2 つの高校は 20 年に亘る署名活動で 167 万筆を集め、2 名の高校生が平和大使として国連に届けるそうだ。世界 163 カ国、世界 7614 都市、国内 1728 都市で構成される「平和首長会議」では「2020(に)マル(に)マル(に)ビジョン」を広島、長崎を先頭に声高に掲げている。

偶然にも 2020 年 8 月 9 日は平和の祭典、オリンピック閉会式は長崎被爆から 75 年となる。

地球上から「核無しの日」となること、そして真の世界平和を心から祈られずにはいられない。

## TOPICS

- 1、業務用 大型浴水循環濾過装置 更改契約 千葉県我孫子市 T 建設単身寮 7/3
- 2、業務用 大型浴水循環濾過装置 更改提案
- (1) 三浦市 N 老人ホーム 6/28 (2) 横浜市 M 老人ホーム 6/23
- 3、家庭用 「浴室リフォーム」企画提案 横浜市 A 邸 6/23